

1. 新潟県小児肥満等発育調査

◆調査対象：県内市町村保育所等 3～5 歳児

◆調査時期：6 月

本調査を開始してから 21 年が経過し、全県において健康づくり対策等の基礎資料として活用されているだけでなく、全国でも先駆的な取り組みとしても評価されています。

【H30 年度小児肥満等発育調査結果概要】

肥満とやせの出現状況

肥満度+15%以上：4.81%

肥満度-15%以下：1.26%

肥満とやせは年齢とともに増加し、特に 4 歳から 5 歳にかけて大きく増加する傾向が続いており、性別では女兒にやせが多い傾向を示しています。

2. 生涯教育実務研修会

◆実施日：令和元年 7 月 27 日（土）

◆会場：新潟ユニゾンプラザ 参加者：134 名

◆講演：「離乳食のすすめ方と保護者支援のポイント」

講師：帝京科学大学 教授 上田玲子氏

「授乳・離乳の支援ガイド」が 10 年ぶりに改正されたのを受けて、発育・発達に合わせた授乳や離乳の進め方について学びました。保護者支援の視点を加えた内容で大変有意義な研修会になりました。

3. 公衆衛生事業部研修会

◆実施日：令和元年 12 月 14 日（土）

◆会場：新潟ユニゾンプラザ 参加者：28 名

◆講演：「行政栄養士としての A-PDCA サイクルについて」

講師：新潟医療福祉大学 准教授 鈴木一恵氏

◆事例発表：「同職種連携による A-PDCA サイクルの実践」

長岡市教育委員会 岡本沙穂里氏

◆グループワーク：「PDCA サイクルに基づく地域の健康・栄養課題について」

行政栄養士が A-PDCA サイクルに基づく地域の健康・栄養課題に対応した取組が推進できるように、普段の業務の中で地域を評価するためのデータをどのように収集し、PDCA を回していくかを講義や事例をもとに理解を深め、資質向上を図りました。